

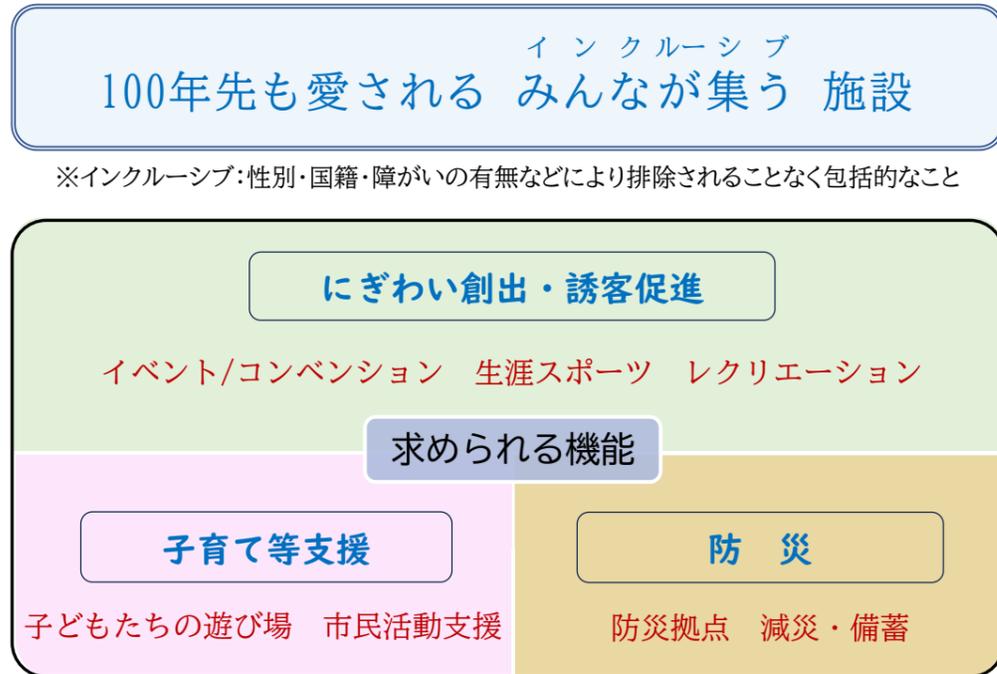
大垣公園等再整備基本計画（素案） ー概要版ー

1. 背景と目的

「大垣公園等再整備基本構想」に掲げた基本理念である「100年先も愛され続ける大垣のシンボルパーク」の実現を目指し、大垣公園等再整備基本計画市民検討委員会からの提言を基に、今後の設計段階に必要となる新大垣城ホールの機能及び規模や大垣公園等のゾーニング等の諸条件を取りまとめた「大垣公園等再整備基本計画」を策定します。

2. 新大垣城ホールの機能及び規模

(1) 新大垣城ホールのコンセプト



(2) 新大垣城ホールの施設規模等(見込み)

延べ面積 約7,900㎡
(現施設の約1.4倍程度)

階層 3階建て

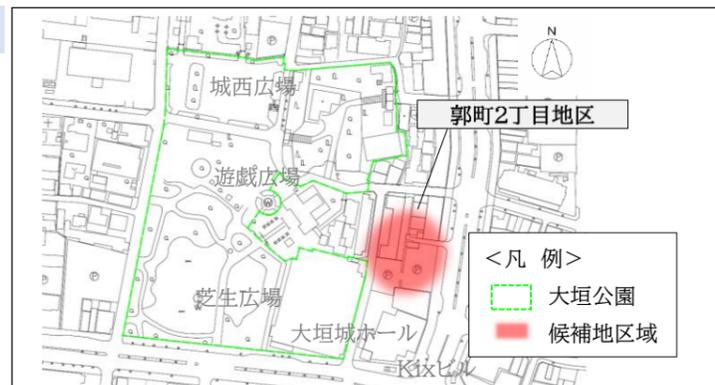
最低建築面積 約4,000㎡

主な部屋	内容
多機能ホール	約1,800㎡ (現施設の約1.2倍程度)
観覧席	約1,000席程度
会議室・事務室等	会議室・多目的室・屋内遊戯広場
倉庫・器具庫	空調設備、防災備蓄倉庫

3. 新大垣城ホールの建設候補地

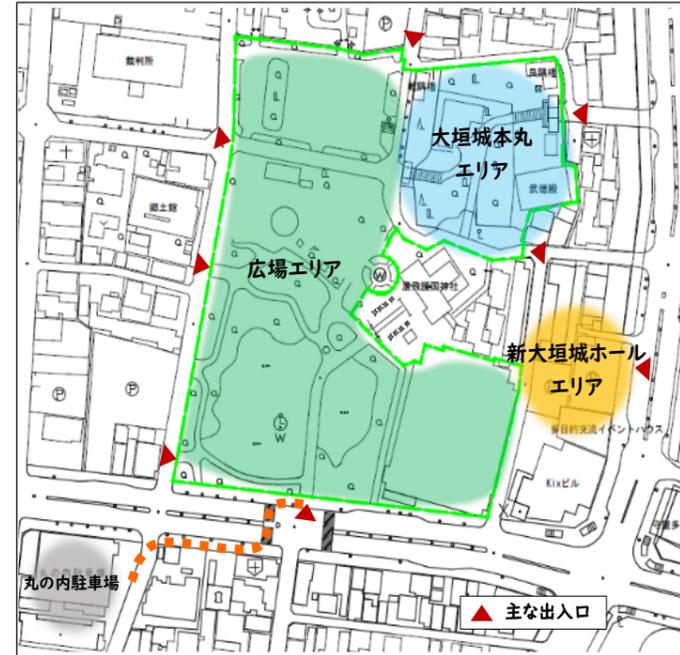
5つの条件

- ① 現公園敷地外への配置
- ② 中心市街地のにぎわい創出
- ③ 公園との一体性
- ④ 最低建築面積等の確保
- ⑤ 市の所有地の有効活用

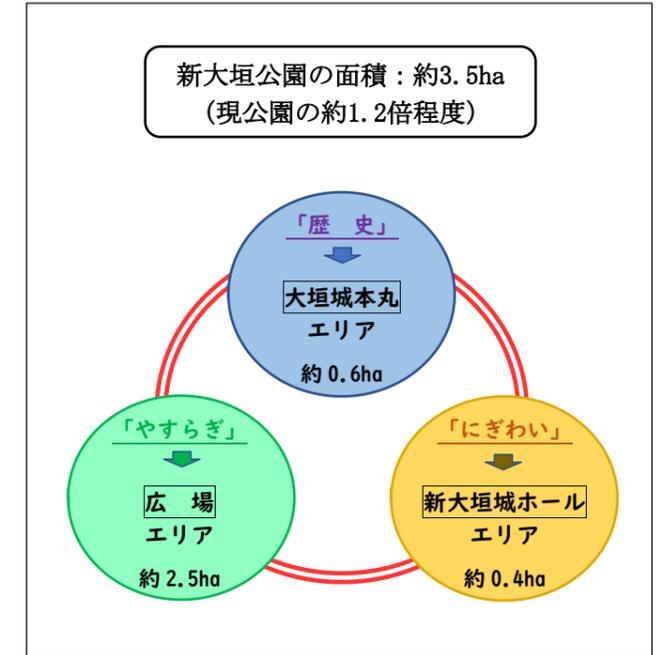


4. 大垣公園等の再整備

(1) 新大垣公園等のゾーニングと動線



(2) 新大垣公園等の規模(見込み)



5. 広場エリアの再整備

(1) 広場エリアの主な施設

施設	検討内容
芝生広場	・緑のオープンスペースを確保 ・イベントやマルシェ、災害時の活動拠点や避難場所などに使用できるよう計画
舗装広場	・レクリエーションや軽スポーツ、災害対策用車両の駐車スペースなどに使用できるよう、広場エリアの一部に平らで耐久性の高い、舗装広場を整備
親水施設	・大垣城の景観とも調和しつつ、水を活かした大垣らしい施設を整備
園路	・散策やジョギング等が楽しめるよう整備 ・キッチンカー等が配置できる幅員を確保
樹木・植栽	・四季の里「夜桜の里」として、サクラを楽しんでもらえるよう整備 ・地域の環境美化、コミュニティづくりにつながるよう市民花壇を整備
休養・利便施設	・散策などの休憩に使用できるよう日差しを遮る東屋やベンチ等を適切に配置 ・水飲みは、車いす利用者も使用しやすいものを園路沿いに設置
遊戯施設	・新大垣城ホールの「屋内遊戯広場」との一体性を確保し、インクルーシブ遊具や複合遊具等を設置
健康維持・増進施設	・ストレッチや軽い運動ができる健康遊具を設置 ・園路をジョギングコースとして使用できるよう計画
管理施設	・大垣城のライトアップのためのLED照明設備、園路灯や防犯カメラ等を適切に設置 ・イベントなどに使用できるよう、電源ボックス、放送設備を設置
防災施設	・生活用水を供給できる施設や備蓄倉庫を設置し、緊急の救護室等として活用できる東屋や、炊き出し等に活用できるベンチ等を適切に配置

大垣公園等再整備基本計画（素案） 一概要版一

6. 駐車場・駐輪場の整備

(1) 駐車場整備方針

- ・新大垣城ホール周辺に平日の必要台数約30台以上を確保します。
- ・休日等に不足する分は、大垣市丸の内駐車場や市役所等駐車場等を活用します。
- ・大垣市丸の内駐車場は料金形態を含め、建替を検討します。
- ・バス駐車場や思いやり駐車場等は適切に整備します。



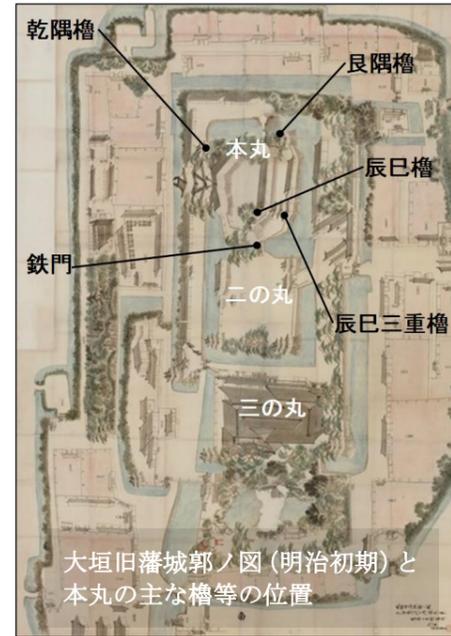
(2) 駐輪場整備方針

- ・新大垣城ホールに隣接して約30台を整備し、スポーツ大会開催時には、臨時駐輪場を確保します。

7. 大垣城本丸エリアの整備

(1) 大垣城本丸エリアの再整備

区分	内容
復元 史跡の	・城下町大垣のシンボルとして、 ^{くろがねもん} 鉄門や櫓等の復元等を検討
再発 魅力の	・現在も残る石垣を焦点とした解説や天守の景観整備を検討 ・お堀をイメージできる景観整備等を検討
主な 施設	・全ての人にやさしく使いやすいインクルーシブなトイレの設置を検討 ・天守前の広場までのスロープや舗装整備を検討 ・入場券や御城印等の物品等を扱う事務所兼売店の設置を検討



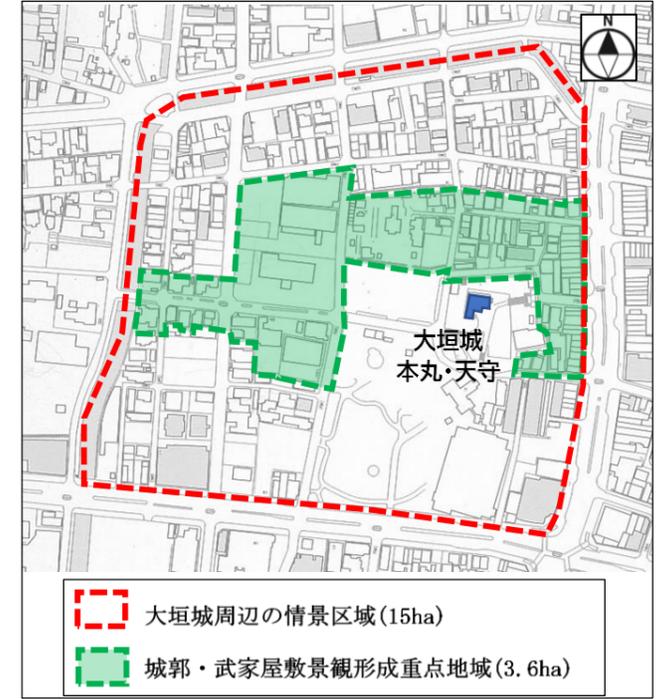
(2) 大垣城の学びの環境整備

大垣城のこれまでに得られた知見や今後の調査で得られる新たな知見等をもとにCG（コンピューターグラフィック）による復元を行い、AR（拡張現実）、VR（仮想現実）等を活用して大垣城について学べるよう環境整備を進めます。

8. 大垣城天守の景観保全

(1) 大垣市景観計画の主な改定内容（予定）

区分	内容
景観計画区域区分の追加	景観計画区域区分に、新たに「大垣城周辺の情景区域」を追加
景観形成に関する方針の追加	大垣城天守を視対象として眺望できる視点場と、天守展望室からの眺望景観等、保全する景観を選定
景観形成のための行為制限の追加	景観形成のために必要な建築物の高さや色彩等に関する「行為の制限」を追加
城郭・武家屋敷景観形成重点地域の追加等	「大垣城の情景区域」の一部を「城郭・武家屋敷景観形成重点地域」として指定し、より詳細な「行為の制限」を設定



9. 官民連携による事業手法等

(1) 官民連携による事業手法と概算事業費

大垣公園等の再整備においては、民間の知恵と活力の活用が不可欠であり、定量評価及び定性評価の結果から、DBO方式（設計・施工等一括発注方式）を基本としますが、今後、民間事業者の参入意欲の把握に向けた対話（サウンディング調査）等を行い、最適な維持管理方法を検討していきます。

また、新大垣城ホールの本体工事費は、他市の事例から50億円程度と見込まれることから、最適な事業手法、財源確保及びコスト削減などに取り組み、将来の事業負担の軽減に努めていきます。

(2) スケジュール

大垣公園等は豊かな市民生活を支える重要なインフラであることを踏まえ、令和14年度の完成に向けスピード感をもって、効率的に整備を進めていきます。

